

- 問1 1978年から2018年にかけての沖縄県の観光に関する統計資料を分析すると、観光客数と観光収入の双方が著しい成長を見せていることがわかります。この約40年間の変化について、数値の推移から読み取れる事実として最も適切なものはどれですか。 (2024年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 観光客数は大幅に増加したものの、観光客1人あたりの消費額が急減したため、観光収入の総額は1978年当時の水準を維持するにとどまった。 | 2. 観光客数はこの期間に8倍以上の増加率を記録しており、それまでの主要産業であった農業の生産額を統計開始直後に上回った。 | 3. 1978年と比較して、観光客数の増加率よりも観光収入の増加率が極端に低くなっており、観光産業の経済への影響力は年々低下している。 | 4. 観光客数は1978年の約140万人から2018年には約1000万人に達しており、観光客数の増加に連動して観光収入も大きく拡大した。 |
|---|---|---|--|
- 問2 福岡県の工業出荷額の内訳を、1970年と2010年で比較した際に読み取れる特徴として、正しい記述はどれですか。工業の種類は「鉄鋼・石油などの基礎素材」「自動車・テレビなどの加工組立」「衣食住関連」の3つに分類するものとします。 (2019年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 1970年には加工組立製品が中心であったが、2010年には資源価格の高騰により基礎素材製品の割合が逆転して上昇した。 | 2. 1970年時点では基礎素材製品の割合が大きかったが、2010年には自動車などの加工組立製品の重要性が相対的に高まった。 | 3. 1970年から2010年にかけて、出荷額の合計が減少したため、すべての項目において出荷額の実数が減少した。 | 4. 2010年時点でも依然として基礎素材製品の出荷額が全体の8割以上を占めており、1970年からの構造変化は見られない。 |
|---|--|--|---|
- 問3 沖縄県において、宿泊・飲食サービス業（8.3%）や医療・福祉（15.7%）などの第3次産業の就業者比率が、全国平均（それぞれ6.2%、12.5%）を上回っている理由や背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2022年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 豊かな自然や独自の文化を活かした観光業が盛んであり、地域の生活を支える医療・福祉の需要も高いため | 2. 製造業の自動化が全国で最も進んだ結果、余剰となった労働力がすべて観光分野に移動したため | 3. 広大な土地を活用した自動車産業の工場誘致により、関連するサービス業の雇用が全国一となったため | 4. 農林水産業に従事する就業者が不足しており、食料品を加工・提供するサービス業が唯一の産業となっているため |
|---|--|---|--|
- 問4 福岡県の北九州市に関して、かつて官営八幡製鉄所が建設され重化学工業が発展したが、現在ではその産業構造に変化が見られる。この地域の現在の特徴的な取り組みとして最も適切なものはどれか。 (2017年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------|----------------------------|---------------------------|-----------------------------|
| 1. 伝統的な繊維産業を中心とした地場産業の振興 | 2. 公害克服の技術や経験を生かしたエコタウンの形成 | 3. 周辺のリアス海岸を生かした真珠や魚介類の養殖 | 4. 広大な平野を利用した大規模な稲作と野菜の抑制栽培 |
|--------------------------|----------------------------|---------------------------|-----------------------------|
- 問5 鹿児島県から宮崎県にかけて広がる、火山噴出物が堆積してできたシラス台地では、その土地の性質からどのような土地利用が一般的ですか。最も適切な理由と内容の組み合わせを選びなさい。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 土壌に塩分が多く含まれており農作物の栽培に適さないため、主に工業用地として利用されている。 | 2. 非常に水はけが良く、地表に水が溜まりにくいため、古くから畑として利用されている。 | 3. 保水力が非常に高く、常に湿り気を帯びているため、大規模な水田地帯として利用されている。 | 4. 年間を通して気温が低く土壌が凍結するため、農地にはせず牧草地として利用されている。 |
|--|---|--|--|
- 問6 九州地方の北西に位置し、朝鮮半島との最短距離にあることから、歴史的に大陸との外交や貿易の中継地となってきた島があります。鎌倉時代に元軍が日本へ侵攻した際にも、その地理的条件から最初の攻撃対象となったこの島の名称は何ですか。 (2018年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------|-------|-------|
| 1. 五島列島 | 2. 対馬 | 3. 佐渡 | 4. 隠岐 |
|---------|-------|-------|-------|
- 問7 九州地方などの畜産業において、外国から安価な牛肉や豚肉の輸入が増加した際、国内の農家が経営を維持するために取った戦略として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--------------------------------------|---|
| 1. 「宮崎牛」などの名称を冠したブランド化を進め、品質の高さで差別化を図った。 | 2. 外国からの輸入を完全に禁止するよう国に強く働きかけ、市場の独占を目指した。 | 3. 畜産業から撤退し、すべての農地を海外輸出向けの果樹栽培に転換した。 | 4. 外国産の肉に対抗するため、生産コストを極限まで下げて安売り競争を続けた。 |
|--|--|--------------------------------------|---|
- 問8 日本の各県の農業産出額を比較した際、沖縄県には他県と異なる際立った特徴が見られます。その内容と背景について正しく説明しているものはどれですか。 (2017年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. シラス台地の特性を活かし、広大な土地で茶の生産や肉用牛の飼育が農業の中心となっている。 | 2. 温暖な気候を活かしたさとうきびなどの工芸作物の栽培が盛んで、その産出額の割合が約40パーセントと非常に高い。 | 3. 大消費地に近い立地を活かして、キャベツやレタスなどの近郊農業による野菜の産出額が最も多い。 | 4. 平坦な土地と豊富な水資源を活かし、稲（米）の産出額が全体の半分以上を占めている。 |
|--|---|--|---|
- 問9 熊本県に位置する阿蘇山では、大規模な噴火によって地下のマグマが噴出した後、地表が陥没して「カルデラ」と呼ばれる地形が作られました。この地形の利用や特徴について説明したものとして最も適切なものを選びなさい。 (2016年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|---|--------------------------------------|--|
| 1. カルデラ内には広大な草原が広がり、牛や馬の放牧が行われている。 | 2. カルデラの周囲は火山灰が堆積したシラス台地となっており、サツマイモ栽培が盛んである。 | 3. カルデラの急斜面を利用して、大規模な稲作や果樹園が展開されている。 | 4. カルデラの底部には常に水が溜まっており、巨大な湖としてのみ利用されている。 |
|------------------------------------|---|--------------------------------------|--|
- 問10 鹿児島県の地形別面積割合に関する統計において、台地の占める割合は約20.8パーセントとなっており、全国平均の約11.2パーセントと比較して非常に高い数値を示しています。このように、過去の火山活動による火山灰などの噴出物が厚く積み重なって形成された、九州南部に広がる台地を何と呼びますか。 (2017年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|----------|--------|---------|
| 1. 砂丘 | 2. シラス台地 | 3. 扇状地 | 4. カルデラ |
|-------|----------|--------|---------|
- 問11 九州地方の農業について、茶の生産状況を説明した文として正しいものはどれですか。 (2017年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|---|---------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 福岡県は、三重県や京都府を抑えて国内で最も茶の生産量が多い。 | 2. 九州地方では茶の生産は行われておらず、近畿地方が全国の生産の大部分を占めている。 | 3. 宮崎県は、九州地方の中で最も茶の生産割合が高い県である。 | 4. 鹿児島県は、静岡県に次いで国内で2番目に高い茶の生産量を誇っている。 |
|-----------------------------------|---|---------------------------------|---------------------------------------|
- 問12 日本の諸地域を学習する際、北海道、東北、関東、中部、近畿、中国・四国、九州の七つの地方区分が用いられることがあります。宮崎県を含むこの地方区分に基づいたとき、宮崎県と同じ区分に属する県の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2025年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|------------|------------|-------------|
| 1. 熊本県・徳島県 | 2. 広島県・岡山県 | 3. 愛媛県・香川県 | 4. 福岡県・鹿児島県 |
|------------|------------|------------|-------------|